

令和5年11月17日

西部農林水産振興センター農業振興部

標 題 4年ぶりの西部地区子牛共進会開催に新規就農者2名が初出品！

(ダイジェスト)

令和5年10月27日、4年ぶりに西部地区子牛共進会が開催され、生産者12名より16頭の出品がありました。

また、江津市、益田市の新規就農者2名が初めて出品者として参加しました。新規就農者の誕生や共進会の開催によって、今後の西部地区の畜産業の体質強化や活性化が期待されます。

10月27日、益田市の西部家畜市場において、令和5年度西部地区子牛共進会が4年ぶりに開催されました。共進会には西部地区管内の生産者12名から16頭が出品され、生後3～12か月齢の肉用子牛を対象に、発育や栄養度などについて審査が行われました。

その中から大崎善夫さん（浜田市金城町）の出品牛「ふじゆき」号（月齢：6.7か月、血統：幸忠栄-第1花藤-安福勝）が最優秀賞に選ばれました。「ふじゆき」号は発育が良好で体の伸び、幅に優れており、体上線や蹄の強さなど体全体の強さを兼ね備えた牛として高く評価されました。



最優秀賞（ふじゆき号/大崎善夫氏）



審査風景

また、新規就農者として初めて出品した2名については、特別賞として担い手賞が授与されました。畜産情勢が厳しい中、新規就農者の存在と、新しい感覚や発想による取り組みが刺激となり畜産業の体質強化や地域農業の活性化に大きく寄与すると期待されています。



担い手賞を受賞した新規就農者2名

そのため、今後も新規就農者の確保や担い手の育成、就農場所の確保などに向けて、西部地区内の生産者団体や関係機関と連携して取り組んでいきたいと考えています。